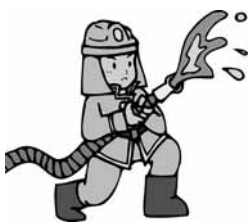




消防行政の推進と 消防団環境の整備を 中心市街地の活性化は喫緊の課題

社民・民主・護憲クラブ 平嶋 慶二議員

問 筑後地域8消防本部合同による通信指令事務の共同運用準備が進められているが、指令台で119番通報を受けた際、場所の特定に時間がかかり、対応が遅れたりしないのか。



答 共同運用の指令台は、運用前に習熟研修を行い、目標物もデータ登録が可能のため、他の消防本部の職員が受けても、通報場所の特定に時間を要することはない。

問 消防団格納庫に会議室やエアコンがないところがあると聞が、消防団活動の環境改善について聞きたい。

答 本年度中に作成する消防団活性化計画において、設備や資機材等の充実についても検討を進めたい。

問 今回の九州北部豪雨は未曾有の災害であった。この教訓に基づいた本市の防災・減災の考えを聞きたい。

答 今回の災害の教訓を踏まえ、25年度末までに地域防災計画を抜本的に見直すことにしている。

問 中心市街地、とりわけ新栄町地区の活性化は早急に解決すべき重要課題であり、一日も早い実現を望むものである。中心市街地活性化の取り組みには、様々な団体との連携・協働も必要だが、見解を聞きたい。

答 今後も商工会議所と連携し、様々な団体と協働して、中心市街地活性化に向けて全力で取り組む。

問 世界遺産登録に取り組む意義が市民に伝わっていないと思われるが、世界遺産の意義とは何か。

答 三池炭鉱の関連施設が世界遺産になれば、国家や民族を超え、かけがえのない人類共通の財産として認められることになる。また、ユネスコ憲章にもある平和構築につながっていくものではないかと考える。

問 三池炭鉱関連で犠牲になられた方のみたまを心から慰霊することが礼節ではないか。

答 慰霊碑の供養をされている関係者の皆様に敬意を表するとともに、慰霊祭等に関しては、できる限りの対応をさせていただきたい。

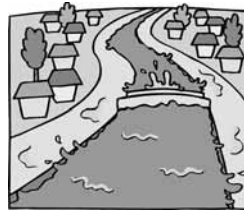


生命を守るための公共投資で 防災力の強化と経済の活性化を

公明党議員団 大野 哲也議員

問 市長は我が地域の歴史性、地域性をどう認識し、防災計画に反映していくつもりなのか聞きたい。

答 過去に台風や大雨で被害を受けたことがある。地理的な特性として、東には丘陵地、西は干拓地や埋立地が見られ、主要な河川は東から西へ流れ、干満の差が激しい有明海に注いでいる。そのため、各地域の異なる地理的条件を考慮した校区别の防災カルテを作成していく。



問 防災無線、瞬時警報システムなど、本市の災害情報の伝達方法の現状と課題について聞きたい。

答 一つの方法では情報の伝達に限界があることから、多様な手段を講じている。具体的には、屋外拡声器をつけた防災行政無線、全国瞬時警報システム、携帯電話のエリアメールサービス、広報車、戸別訪問などがある。

問 介護予防の充実策の実態について聞きたい。

答 本年2月に日常生活圏域二一ズ調査を前倒しで行い、その折予防教室への参加を働きかけた。また、10月から地域包括支援センターを4カ所から6カ所に充実させ、取り組みを強化する。さらに、介護予防強化推進事業や地域健康力アップ事業、地域での学習会等も実施する。

問 国民健康保険の医療費抑制のための具体策の現状と課題について聞きたい。

答 医療費の適正化では、レセプト点検の強化やジェネリック医薬品の使用促進を図っている。保健事業では、国保30代健診事業の充実と人間ドックの実施、地域健康力アップ推進事業などを行い、医療費の伸びを抑え、国民健康保険事業会計の安定化を図っていく。

問 近代化産業遺産を活用したまちづくりに向けて、市民理解を得るための方策について聞きたい。

答 23年度はセミナー、地域説明会、出前講座、施設の定期公開などの啓発・公開事業を87回実施し、延べ4,850名の参加を得た。今後は説明会等に加え、地域と連携して施設見学の機会を増やすなど、市民と一緒に新たな取り組みも広げていき、市民理解を得ていきたい。